

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	星野 悦子	所属	上野学園大学・音楽学部
研究会等名称	音楽心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数（会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください）</p> <p>会員 20 名（うち認定心理士 1名） 非会員 2 名（うち認定心理士 0名）</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</p> <p>1、 本研究会では例会を 2 か月に 1 度程度の割合で行った。本年度は以下の通り実施した。例会の内容は①以下の英語原典 1 冊を講読して内容を議論する、および②海外文献（論文）の紹介、からなる：原典：“The Oxford Handbook of Music Psychology. 2nd edition”.</p> <p>2、 例会日程：</p> <p>① 2019 年 4 月 21 日 第 82 回例会 ② 2019 年 6 月 30 日 第 83 回例会 ③ 2019 年 11 月 3 日 第 84 回例会 ④ 2019 年 12 月 22 日 第 85 回例会 ⑤ 2020 年 2 月 23 日 第 86 回例会予定であったがコロナ感染拡大のために中止となった。</p> <p>3、集会等の目的・成果等 （実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください）</p> <p>日本心理学会第 83 回大会（於：立命館大学いばらこキャンパス）において公募シンポジウムを研究集会と位置付けて、令和 1 年（2019 年）9 月 11 日に実施した。内容は以下のとおりである。</p> <p>テーマ：「なぜ人は音楽を聴くのか？——音楽聴取の心理的機能を探る——」</p> <p>内容：趣旨説明 1 件（企画代表者：星野）、話題提供 3 件、指定討論者 1 名（山崎晃男）、司会者 2 名（羽藤、宮澤）、フロアの出席者約 30 名。</p> <p>話題提供の内容は以下の通りである。（1）池上真平（昭和女子大）：音楽聴取に関する大規模調査を行ない、潜在的次元と個人差を見出した。（2）生駒忍（川村学園女子大学）：就寝時の音楽使用の実態とその音楽作品の感情的性格や傾向などを探る。（3）森数馬（情報通信研究機構・脳情報通信融合研究センター）：音楽聴取時の強い情動や感動についての自律神経活動と fMRI による測定結果から、鳥肌・涙 と感動との関連とその機能的意義を考察した。これらの発表予稿集を兼ねた「音楽心理学研究会論文集」を出席者全員へ配布した。学会員の広い関心呼び込み多くの聴衆の参加があった。</p> <p>次年度には、日本心理学会第 85 回大会でのシンポジウムとして研究集会を企画している。</p>		

研究集会参加者リスト

＜研究会名＞				
音楽心理学研究会				
研究集会開催日： 2019年9月11日(水)				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	星野悦子	上野学園大学	○	
2	羽藤 律	ゆたかキャンパス	○	
3	宮澤史穂	高齢・障害・求職者支援機構	○	
4	生駒 忍	川村学園女子大学	○	
5	森 数馬	情報通信研究機構・脳情報通信融合研究センター	○	
6	山崎晃男	大阪松蔭女子大学	○	
7	池上真平	昭和女子大学	○	
8	吉野 巖	北海道教育大学	○	
9	古矢千雪	広島文化学園大学	○	
10	楠本竜一	誠信書房	?	
11	池田ことよ		?	
12	菊地真矢	神奈川大学	?	
13	吉川弘明	金沢大学	○	
14	金地美知彦	八戸学院大学	○	
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

(様式5)

2020年 4 月 3 日

日本心理学会研究会 2019 年度会計報告書

研究会名称 音楽心理学研究会

研究会番号 _____

助成金額 300,00

年 月 日	項 目	金 額
2019年9月5日	研究集会の予稿集の製本代として	¥16,308
2019年9月18日	同上の追加冊数分として	¥7,668
2019年5月14日	研究例会の会場費として	¥1,200
2019年11月3日	研究例会の会場費として	¥8,500
2019年11月19日	研究例会の会場費として	¥1,200
2019年9月25日	予稿集の郵送料として	¥2,110
支出合計		¥36,986